

公益財団法人 日本下水道新技術機構

第 29 回理事会議事録

- 1 開催された日時 令和 2 年 3 月 13 日 (金) 14 時 55 分～16 時 35 分
- 2 開催された場所 公益財団法人 日本下水道新技術機構 8 階特別会議室
- 3 理事総数 7 名
- 4 出席理事数 7 名
(出席) 江藤 隆 塩路 勝久 大村 達夫
齋藤 正勝 鷹本 貴彦 花木 啓祐
福井 聡
(監事出席) 穂本 守雄 丸山 淳一
- 5 議案及び報告事項
議案 (決議事項)
 - 第 1 号議案 令和 2 年度事業計画及び収支予算等に関する件
 - その 1 令和 2 年度事業計画書(案)に関する件
 - その 2 令和 2 年度収支予算書(案)に関する件
 - その 3 令和 2 年度資金調達及び設備投資の見込み(案)に関する件
 - 第 2 号議案 令和 2 年度特定資産運用方針に関する件
 - 第 3 号議案 特定費用準備資金の積立に関する件
 - 第 4 号議案 臨時評議員会の招集に関する件報告事項
 - (1) 次期中期事業計画策定と現中期事業計画の評価
 - (2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る対応状況
 - (3) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
- 6 議事の経過の要領及びその結果
 - (1) 議決に加わらない決議事項への事前申し出及び議決数の報告
神原事務局長から、理事の中で、特別の利害関係を有するため議決に加わることができない決議事項があれば議決の前に議長に申し出をされるよう説明があった。そのうえで、本理事会の出席者数は 7 名全員出席であり、特別の利害関係を有すると申し出をされる理事がいなければ、本理事会での決議事項は成立することの報告があった。
 - (2) 議長の選出
神原事務局長から、理事会運営規則第 6 条第 1 項の規定により、「理事会の議長は、理事長がこれに当たる」と定められていることの説明があり、これに則り江藤理事長が議長を務めることとなった。
 - (3) 議事録署名人の報告
江藤議長から、議事録署名人は、定款第 43 条第 2 項の規定により出席した代表理事及び監事であることから、江藤代表理事と穂本、丸山両監事が議事録署名人になることの報告があった。
 - (4) 議案の審議状況及び決議結果等
○決議事項

第1号議案 令和2年度事業計画及び収支予算等に関する件

その1 令和2年度事業計画書(案)に関する件

その2 令和2年度収支予算書(案)に関する件

その3 令和2年度資金調達及び設備投資の見込み(案)に関する件

塩路専務理事及び事務局より、第1号議案その1からその3まで関連議案につき一括しての説明があった。最初のその1では、Ⅰ基本方針、Ⅱ事業計画及びⅢ組織管理運営の適正化と効率化の各項目について詳細な説明があった。その2では、前年度の各科目と比して説明があった。また、その3については、設備投資として機体内LANの再配線等を予定していることの説明があった。

このあと、同議案に関して次の発言・質疑応答があった。

丸山監事 委託費が対前年減額となったのは、模型実験などの直接経費の割合が高い外注が少なくなったもので、直営を増加したわけではないのですね。

事務局 そのとおりです。外注費の構成内容が変わった結果です。

丸山監事 技術マニュアル等について、PDCAサイクルにより成果のフォローアップとありますが、定型的な評価方法によるということでしょうか。

専務理事 これまでもマニュアル等を幾つか報告しておりますが、それに対して改善点等についてアンケートして、フォローアップをしながら新たな研究に繋げるということでPDCAサイクルと考えております。

花木理事 今回のコロナ問題で予算・決算への大きな影響ないのでしょうか。

専務理事 現段階では、数件で工期等が未確定のものがありまして、結果としてどのような影響がでるのか確実なことは申しあげられない状況です。

理事長 予算上はそのような影響は考慮していなくて、収支結果につきましては2年度の決算に反映されるものと考えております。

大村理事 AIによる管路の劣化診断とは、どのようなことを行うのですか。

事務局 管路の劣化診断を行うときに、劣化したものを供試体として画像データをAIに覚えさせて、劣化診断を行う技術を開発しようとするものです。

理事長 管路の中をカメラで撮影し、展開画像をAIに学習させますが、カメラの精度を上げることも含めて調査研究を進めてまいります。

大村理事 各種感染症とありますが、新型コロナに限らずインフルエンザ等の毎年の季節性感染症も対象となるのでしょうか。

理事長 表現は広くしておりますが、新型コロナを念頭に実施した感染症の拡大防止への取り組みを踏まえ、適切に対応したいと考えております。

大村理事 毎年、インフルエンザ等の感染症は発生することなので、組織的な対応をしっかりと行うことは重要と思います。

齋藤理事 人口減少に対応するため処理区域の流域下水道への編入による広域化に向けた検討は、実際の自治体からの要請に応じて行うのでしょうか。

専務理事 実際の公共団体の事例から調査研究を進めておりますが、研究結果は他団体の取り組みの参考になればと考えております。

齋藤理事 以前に下水道関係者等が集まって連合会的な組織を立ち上げるような事がありました。その後、どうなっているのでしょうか。

専務理事 今年の4月1日に連合会が立ち上がる予定になっておりますが、立ち上げ後に、経緯等も含め、連合会についてご報告させていただきます。

福井理事 重点自主研究の浸水対策は昨年の台風19号等を踏まえてのものか。

専務理事 必ずしも台風19号だけではないが、大規模な浸水被害を軽減するために、技術的な対応を含めて検討していかれたらと考えております。

穂本監事 租税公課が増加になっているのは何故でしょうか。

事務局 課税売上げが増えて、課税仕入れが減った結果、預かり消費税が増加したことと、消費税率アップの平準化による影響です。

大村理事 人材育成で技術士の資格取得をされた方は、どのような方でしょうか。また、毎年何人ぐらいの合格者がいるのでしょうか。

専務理事 企業からの出向者で、年度によりますが毎年数人の合格者を出しております。

事務局 機構では、コンサルからのベテランの出向者が講師となり、毎年、技術士の受験勉強を行っております。

鷹本理事 コロナ感染者が発生した場合のシミュレーション等があればお教え願いたいのと、下水道の自立化という表現がありますが、かなり先進的なイメージですが、既にそういう施設があるのかお教え願いたい。

専務理事 下水道の自立化につきましては、まだ、自立化している施設はありませんが、理論的には自立化できる処理場も有り得ると考えております。

理事長 コロナ対策につきましては、後ほど、また報告事項で別途ご説明いたしたいと思っております。

このあと、意見・質問はなく、議長が同議案について諮ったところ、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

第2号議案 令和2年度特定資産運用方針に関する件

事務局から、日銀の金融政策決定会合において、長期金利ゼロ%程度とする金融緩和政策の維持が決定されたこと、また、国内外の金融市場においても不安定な動きが続いていりことから、償還年限が5年の債券で0.1%程度の運用益が見込まれるなど、金融情勢が好転するまで、当面は定期預金により管理・保管して情勢の変化を見守るとの運用方針について説明があった。

このあと、意見・質問はなく、議長が同議案について諮ったところ、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

第3号議案 特定費用準備資金の積立に関する件

事務局より、下水道が抱える様々な課題の中で、地方公共団体や民間企業で取り組みが進んでいない諸課題について、重点自主研究として先導的に「浸水対策に関する調査研究」及び「管路施設の維持管理におけるAIの活用に関する調査研究」を実施するため、特定費用準備資金を積立てることの説明があった。

このあと、同議案に関して次の発言・質疑応答があった。

大村理事 雨水排水におけるゲート操作は個別箇所に対応する技術開発か、あるいは汎用性のあるもので、広く適用できるものか教えて頂きたい。

事務局 最初は個別箇所の課題解決となりますが、いずれは広く応用できる技術開発になればと考えております。

理事長 自主研究は今後問題となりそうなテーマについて先導的に調査研究を実施し、個別に成果を求める場合と、研究成果を踏まえて新たな展開として、共同研究へ繋げていくという性格があることをご理解願いたい。

このあと、意見・質問はなく、議長が同議案について諮ったところ、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

第4号議案 臨時評議員会の招集に関する件

事務局より、令和2年度事業計画及び収支予算等及び評議員会報告事項に係る(理事決議事項)及び(理事会報告事項)について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対応のため臨時評議員会の開催に変えて、資料送付する旨の説明があった。

このあと、意見・質問はなく、議長が同議案について諮ったところ、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

○報告事項

(1) 次期中期事業計画策定と現中期事業計画の評価

事務局から、下水道機構では平成 28 年から 5 カ年の中期事業計画を策定し、事業運営の方向性を明確に示すことにより、関係者に下水道機構の方針を理解していただくとともに、関係者と連携した効率的な事業運営を推進している。

現中期事業計画の策定以降、日本の下水道事業を取り巻く社会情勢は厳しい経営環境や執行体制の脆弱化、施設の老朽化進行など一層厳しさを増している。さらに自然災害の脅威も増しているが、このような課題を踏まえて、新たな中期事業計画を策定し、下水道機構が進むべき方向性を示し各種事業を推進していくとの報告があった。

(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る対応状況

事務局から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため対策会議を開催し、該当する症状が見られた場合の対応、勤務時間管理及び会議等の取扱いについて周知徹底するとともに、感染リスクを少なくするため時差出勤の導入やテレワーク制の導入を試行しているとの報告があった。

(3) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

代表理事である江藤理事長及び業務執行理事である塩路専務理事から、職務執行状況の報告があった。

以上をもって議案及び報告事項についてすべて終了したので、16 時 35 分、議長は閉会を宣し解散した。


以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和 2 年 3 月 1 3 日

代表理事

江藤 隆 

監 事

穂本 守雄 

監 事

丸山 淳 